

2021年度（2020年度実施）秋田大学入学者選抜方法について（予告）

平成30年（2018年）7月26日、「平成32年度実施の平成33年度大学入学共通テストにおける英語認定試験及び記述式問題の活用方針等について」として公表し、平成30年度末までに、より詳細な入学者選抜の実施内容を公表するとしておりましたが、以下のとおりお知らせいたします。

1. 大学入学共通テスト

(1) 「一般選抜」において、高等学校等における基礎的教科・科目についての学習の達成度を測るため、原則として大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」という。）の5教科7科目を課します。

(2) ① 英語科目については、共通テストの枠組における5教科7科目の位置づけとしての独立行政法人大学入試センターが認定した民間の資格・検定試験（以下、「英語認定試験」という。）を、「一般選抜」の全受験生に課します。

また、共通テストを課す「学校推薦型選抜」及び「総合型選抜」の受験生についても英語認定試験を課します。

② 英語認定試験の活用方法については、CEFR 対照表による段階別成績表示を得点換算して、共通テストの英語の得点に加点します。加点の満点は、英語科目の満点の2割以内とします。

CEFR 対照表による得点換算等の詳細は、決定次第公表します。

(3) 共通テストにおける記述式問題（国語・数学）については、5教科7科目を課す原則の下、記述式問題を含む国語及び数学を「一般選抜」の全受験生に課します。また、共通テストを課す「学校推薦型選抜」及び「総合型選抜」の受験生についても記述式問題を課します。

国語の記述式問題については、大学入試センターから示される共通テストの段階別表示に基づき、国語のマークシート式の得点に加点します。加点の満点は、マークシート式の得点と合わせた国語全体の満点の2割以内とします。詳細については、大学入試センターが段階別評価に関する内容を発表した後、検討のうえ公表します。

数学の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

2. 「一般選抜」における「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価については、面接により実施します。面接においては調査書等の書類を活用します。

なお、面接を実施しない学科等においては、調査書等の書類を活用して評価します。活用方法等については、学生募集要項等により公表します。

3. 学力の3要素※の評価のため、共通テストを課す「学校推薦型選抜」及び「総合型選抜」においては、個別学力検査等で小論文、面接（口頭試問を含む。）等を実施するとともに、調査書等の書類を活用します。

共通テストを課さない「学校推薦型選抜」及び「総合型選抜」においては、プレゼンテーション、小論文、面接（口頭試問を含む。）等を実施するとともに、調査書等の書類を活用します。

実施方法、活用方法等については、学生募集要項等により公表します。

※「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

4. 別に予告する「2021年度秋田大学入学者選抜における実施教科・科目等」を参照願います。